

停電したらどうする？

大規模地震による停電や台風、集中豪雨による停電のほか、停電の原因はいろいろあります。停電時の対処法としては初めに停電の原因を知る、調べるといいますが、停電になった時の事前対策は原因が何であれ必要です。いつ起きるかわからない停電に備えるための一般的な事の特集記事にしてみました。

停電したら最初にすること

1 停電の原因を知ること

停電が自宅だけか、隣近所も停電なのか停電の範囲を確認する。地震や台風でも自宅の電気器具や配線の漏電などの場合もあるので広域的な停電なのかどうかを知ることは大切です。

※普段から契約電気会社や東電の問い合わせ先を確認しておくとう便利です。

2 ブレーカーが落ちているか確認すること

自宅の配電盤がどこにあり家全体のアンペアブレーカーを知っておくことは重要です。このブレーカーが落ちていれば自宅だけの停電でどこかでショートしたか漏電していることとなります。ブレーカーが落ちていたらまず全部の電気器具のコンセントを抜いてブレーカーを上げてみて、再び落ちる様であれば家の配線のどこかで漏電していることになり、これは火事の原因にもなるので危険です。こうした場合は電気屋さんなどのプロに見てもらい必要があります。ブレーカーが落ちなければ一つひとつの電気器具をコンセントに接続し電源を入れてみてどの器具が悪いのか調べることで。

3 避難する時などは必ずブレーカーを落とすこと

これは電気が回復した時の通電火災を防ぐためです。



普段から準備しておくこと

1 飲料水

大人1人が、3L/日として、1週間から10日分を想定して用意。

2 食料

調理を要しないもの、容易に持ち運べるもの、常温で保存できるもの。

3 医薬品

ばんそうこう、持病薬など。

4 装備品

手袋、マスクなど。

5 衣類

下着、靴下、災害の季節によっては、必要となる防寒具など。

6 情報収集用品

災害により通信が遮断された際の用品として、ライト、充電器が備わったラジオを用意する。

7 照明器具

懐中電灯、LED携帯ライト、ろうそくなど、乾電池の予備も準備しておくこと。

ソーラー式や手動充電式の照明器具があれば、なおよいでしょう。

8 その他

貴重品（現金、預金通帳、保険証、運転免許証、印鑑）などは、容易に持ち出しが可能な状態で日ごろから保管すること。

個人、家族個々に必要なものも同様に保管する。あれば、便利なものとして、カセットコンロも重宝します。

停電時に困ること

- 1 スマホの電源が切れると連絡や情報収集ができなくなる
- 2 テレビがつかず情報収集ができなくなる
- 3 冷暖房器具が使えなくなる
- 4 加熱調理ができなくなる
- 5 冷蔵庫・冷凍庫内の食品がいたむ
- 6 水を電力で動かしている場合は水も使えなくなる
- 7 夜間に照明が使えなくなる

あってよかった！停電対策グッズ

- 1 水の備蓄
- 2 非常食の備蓄
- 3 モバイルバッテリー・ポータブル電源
- 4 電池式・ソーラー式の電気
- 5 カセットコンロ・ガスボンベ
- 6 クーラーボックス
- 7 現金

夏にあると便利な停電グッズ

- 1 粉末タイプのスポーツドリンク
- 2 塩タブレット
- 3 冷却スプレー
- 4 汗拭きシート
- 5 無水シャンプー

冬にあると便利な停電グッズ

- 1 防寒着
- 2 アルミブランケット
- 3 カイロ
- 4 乾電池式・ガス式・灯油式のストーブ
- 5 マスク

(出典 LIMIAホームページから)

停電時に無くて困ったもの

懐中電灯、ランタン、ろうそく、ラジオ
カセットコンロ・ガスボンベ
モバイルバッテリー、乾電池の予備
飲料水、非常用給水袋、簡易トイレ
ガソリン

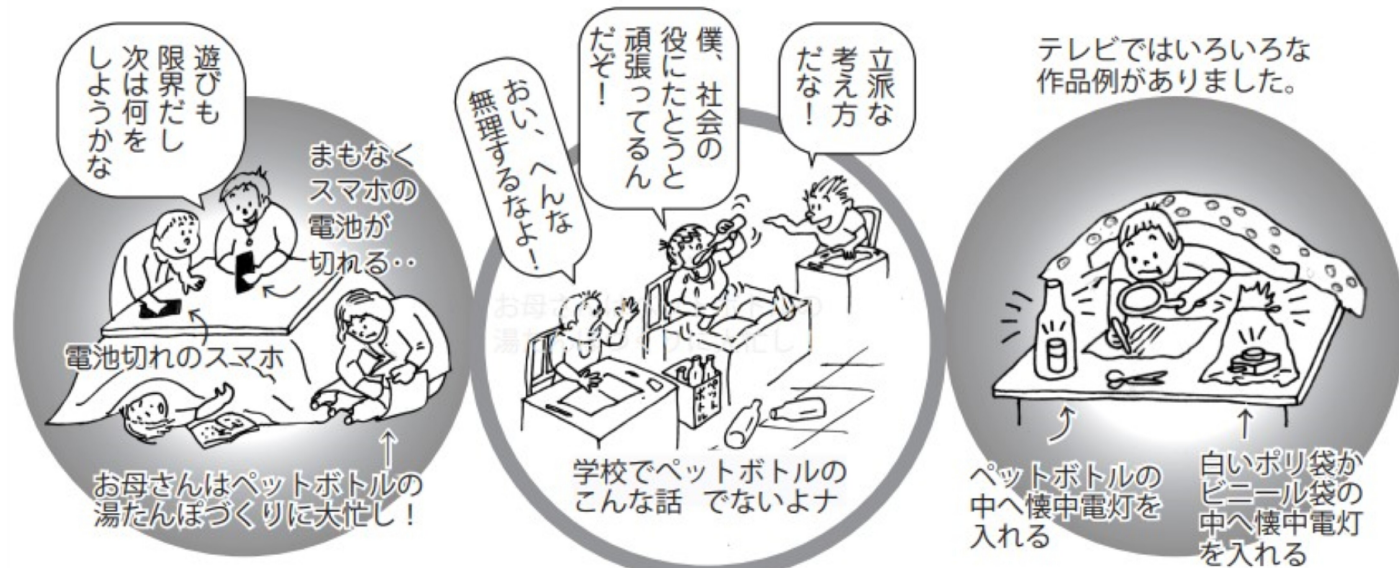
(インターネットから抜粋)



左は乾電池式のライト。3段階に明るさが変わり、後ろに磁石がついているので冷蔵庫などにつけられる。右はLEDヘッドライト。スイッチで点灯の仕方が変わります。



簡単なソーラー発電機。携帯の充電には便利。80ワット位までの交流電気器具の電源として使える。



<ペットボトルの活用法>

マンガ 萩原編集委員